



HLG SYSTEM [®]

落書き・貼り紙防止、耐酸化性、UVフィルター機能を伴った永久保護システム

保護特性について

- 反復洗浄後も永久に持続する保護性能
- 蒸散性
- 下層に最適な条件を維持
- 撥水撥油性
- 素地面の風合いを変えない無色
- 顧客の好みに仕上がりを選択可能 (艶あり・艶なし)
- 金属面酸化防止
- 耐UV性
- 耐候性・耐汚染性
- 感触が変わらない仕上がり
- 簡単かつ経済的なメンテナンス

適用素材及び旧塗膜

いかなるタイプの面にも塗装可能 (下記例参照) :

- 大理石
- 自然・人工石
- コンクリート
- レンガ
- 花崗岩
- モルタル
- セラミカ
- 漆喰
- 水性ペンキ塗装面
- 溶剤ペンキ塗装面
- 金属面
- ガラス
- 木材 (自然・ニス仕上げ)
- プラスチック (*)

(*) プラスチック面を塗装の際は、事前に弊社技術課にお問い合わせ下さい。

上記に掲載されていない塗装をご希望の場合は、弊社技術課へ事前にお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

荷姿
4kg 缶

材料ベース
シリコンベース無機ポリマー

保存方法

乾燥・冷暗所 (0~20度) にて出荷時容器のまゝ、密閉状態で12ヶ月間使用可能。なお、一度開封された場合は6ヶ月が限度。

使用方法

(1) 下地処理及び素地準備

本製品を塗装する面を綺麗かつ乾いた状態にしてください。しみ、錆等全ての不純物を完全に除去してください。

素地を水で洗浄した場合は、完全に乾燥したことを確認の上、本製品の塗装を始めてください。

ひび、目地等の補修処理を行った場合は、完全補修および硬化を確認してください。

仕上げ部分以外に余分な塗料が付着しないように養生をしっかりと行ってください。

(2) 混合方法

プライマー及びトップコート混合の際は、塗装方法養成クラスにて提供された混合比表をもとに確実に行ってください。

本製品の混合に関して、混合量及び順番を変更することは強く禁じられています。いかなる添加剤も使用はできません。なお、許可なく混合修正を行った場合は、本製品の特性が失われる原因となります。

必要に応じて、本製品専用リターダーもご利用いただけます。

(3) 塗装方法

HVLP ガン

低圧により塗料の微粒化が可能であり、より綺麗に仕上がります。塗料を少量ずつ消費することにより、最大限に製品を使うことができます。

刷毛及びローラー

HVLP ガンが使用不可能な場合は、刷毛及びローラーも使用可能です。しかし、素地の持つ色を深める可能性もあり、製品塗布量は上記ガンに比べ多くなります。

まず、最初にH L Gシステム専用プライマーSL100を塗装します。

塗装責任者は同プライマーが確実に施工されていることを確認してください。場

合によっては2面以上塗る必要がある場合もあります。

素地面及び天候状態によりますが、最短約4時間、最長7日間の養生後、トップコート SL600 艶ありもしくは艶消し版を塗装してください。

摂氏5度以下、35度以上では塗装しないでください。

取り扱い及び輸送方法

本製品の取り扱い及び輸送方法については、化学製品取り扱い方法に従って行ってください。詳細は本製品MSDSを参照してください。

製品および容器の廃棄については、法令に従い、処理してください。また廃棄は本製品の最終保持者が責任をもって行ってください。

技術データ

外観	艶あり、もしくは艶なし
カラー	無色透明
性質	無機質
乾燥時間	指触乾燥：20℃ ⇨ 10 分 完全乾燥：20℃ ⇨ 3 時間
プライマー→トップコート塗装の間隔	最短 4 時間 – 最長 7 日

重要：

本製品説明書に記載された情報は本製品の特性、使用方法、施工方法に特化したものです。また本データは弊社独自の研究、研究所及び実績により収集された知識をもとに作成されております。

本書にて記載されている消費データ等に関しては弊社独自の実績によるものであり、工事及び施工状況により変わります。実際の消費量に関しては各工事により異なり、お客様の責任の下管理されるものです。

いかなる疑問・アドバイスに関しては弊社技術課にご連絡の程お願い申し上げます。

保証に関しては工場生産時の欠陥のみ適応され、不適格な塗装においては、お客様が全責任を負うものとします。

また、本書に掲載されていない製品の使用に関しても、弊社の責任外とします。

グラス・カバー・ヨーロッパ社は本社のデータを含むデータの修正権利を所有しており、予告なく変更されることがあります。

新しいバージョンが発行された場合、本バージョンは無効となります。



HLG SYSTEM

落書きのようなバンダリズム（故意的な破壊行為）には、第一有効なのが洗浄。HLGシステムの保護効果により、早くで、簡単で、経済的な洗浄が可能となりました。

1. HLGシステム保護膜の洗浄方法

必要に応じて、生分解性洗剤、水性中性洗剤、弱アルコール性有機溶剤（エタノールやイソプロピルアルコール等）を用い、手作業で簡単に洗浄作業が可能です。手順は下記の通りです。

- 1.- 必要な場合に限り、上記洗剤を除去したい落書き等のインク部分に吹きかける。
- 2.- 30秒ほど放置する。
- 3.- 雑巾等で上記部分をふき取る。

圧力（30～120バール）洗浄も可能です。この場合冷水もしくは温水（80℃-90℃）がご利用になれます。また、壊れやすい素材の場合、水圧を下げた状態でご利用になることをお勧めします。

**今日までのプロテクション膜のように、洗浄毎に再塗装する必要はありません！
HLGシステムは永久持続性のある保護膜なのです！**



2. 洗浄製品

HLGシステム保護膜には生分解性洗剤、水性中性洗剤、弱アルコール性有機溶剤（エタノールやイソプロピルアルコール等）がおすすめです。

ご不明な点がございましたら、弊社技術課にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

3. HLGシステムにより起こらなくなった現象

- 落書きや貼り紙などの長期にわたる放置。こうした放置による外壁等の外観の汚れ・悪化等によりバンダリズム（故意的な破壊行為）が増加していた。
- 落書きや貼り紙などの付着物を除去する際に使われていた金属性の道具。塗装面が傷つかずに除去可能となった。
- 通常禁じられている洗剤の使用。人間にも環境にもやさしいタイプの洗剤で塗膜面を綺麗に保つことが可能となった。